

演題名：日本と東大の臓器移植発展に向けたとりくみ
 演者名：此枝千尋、平石尚久、羅妍、平井絢子、堂園鏡介、福田開人

次世代臓器移植開発推進講座は、肺移植で元気になられた患者さんが設立した一般社団法人N28（現、生体肺移植普及会）からの寄付により開設され、増加し続ける東大病院と日本の臓器移植診療の推進に貢献できる人材を育成するとともに、移植医療をサステナブルにするためのシステム研究・開発を行っています。



◆昨今の国内脳死ドナーの増加傾向に対応できる臓器移植体制を構築し、臓器移植を推進するため、当院で肺移植を受け元気になられた患者さんが一般社団法人N28（現、生体肺移植普及会）を設立し、寄付を申し出られ、これを使って令和7年4月に東京大学医学部附属病院に新たに寄付講座「次世代臓器移植開発推進講座」を開講し、これと連動する形で臓器移植に必要なメディカルスタッフの確保、設備の充実（手術室、ICUの増設）、病棟のDX化等の関連事業を進めている。

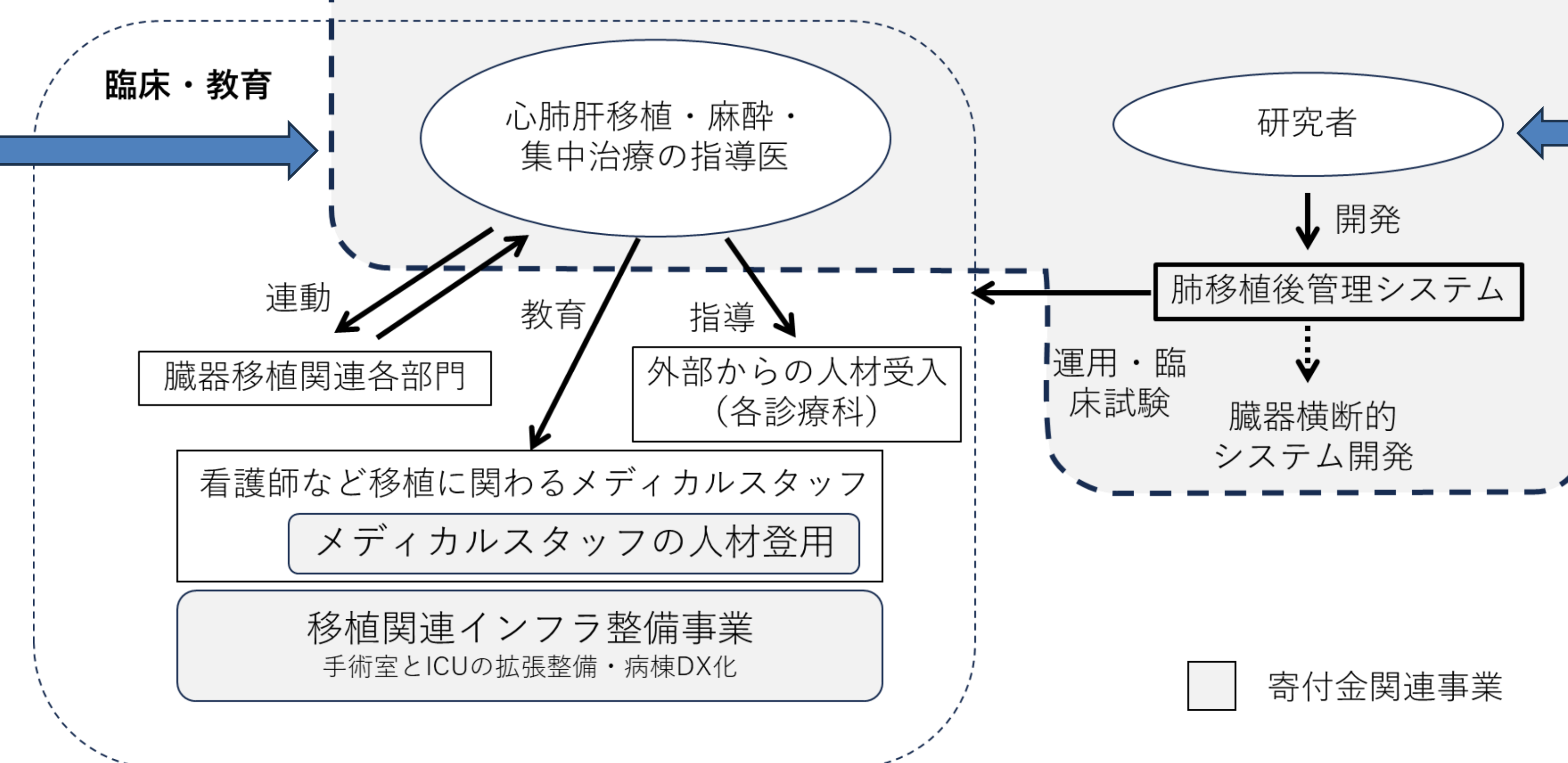
◆寄付講座においては、肺移植だけでなく、他臓器や麻酔科、集中治療分野も含め、次世代の臓器移植を担う人材を育成する目的で教員を配置する。これによって、これまで海外施設でしか学べなかった最先端の臓器移植を日本国内で学べる仕組みを構築する。臓器移植に関わる患者管理の効率化を進めるための情報管理システムの研究開発を促進する。

◆日本の臓器移植の実施体制を改革し、欧米の移植センター並みの体制を構築するには先行投資が必要となるが、従来の予算、枠組みでは難しかった。本学が、今回の寄付金を元に、この寄付講座および関連する事業によって先陣を切り、臓器移植に関する臨床・研究・教育の基幹施設としての「東大モデル」を示すことで、日本の臓器移植を次のステージに進めたい。

臨床系教員

- ・ 此枝千尋（特任准教授）
呼吸器外科、肺移植
- ・ 平石尚久（特任講師）
呼吸器内科、肺移植
- ・ 平井絢子（特任助教）
麻酔科、心・肺移植麻酔
- ・ 堂園鏡介（特任助教）
救急集中治療、移植周術期管理
- ・ 福田開人（特任助教）
肝胆膵移植外科、肝移植

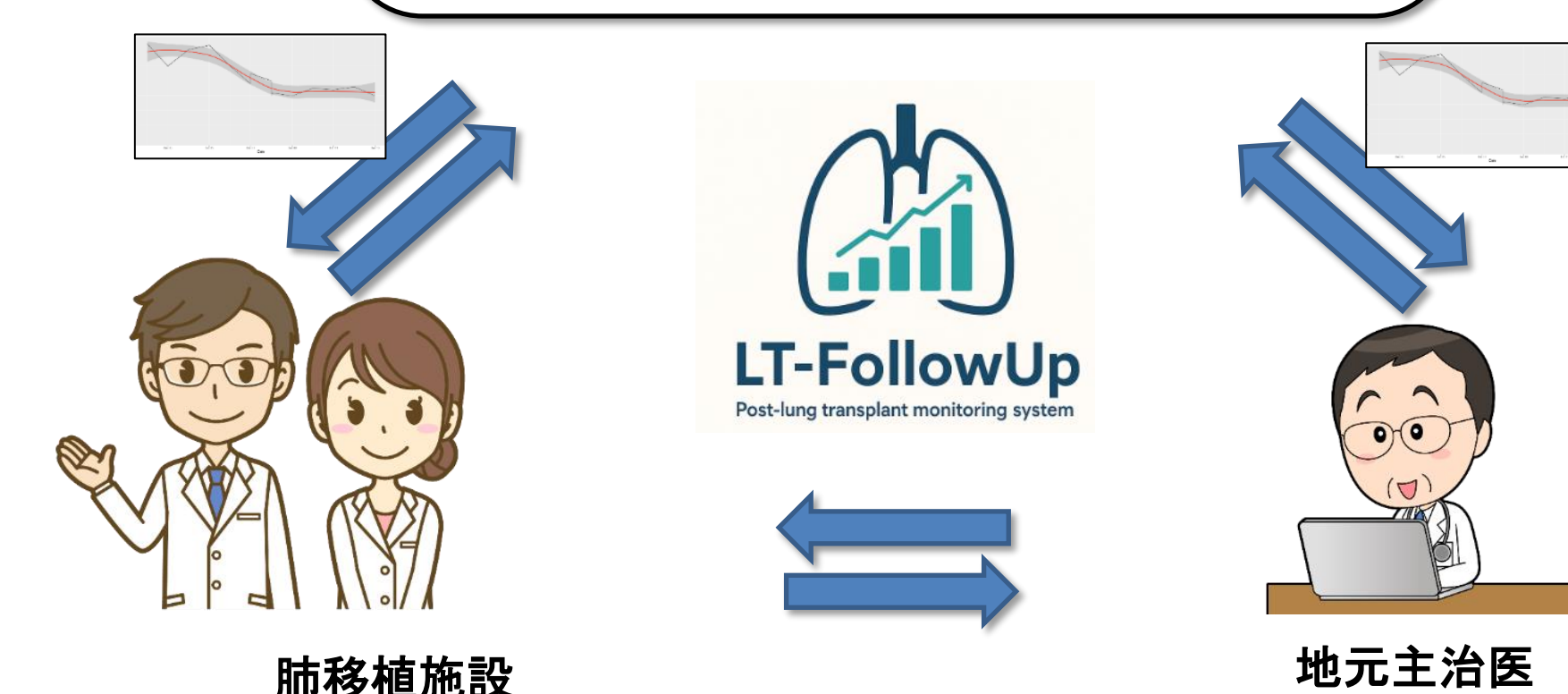
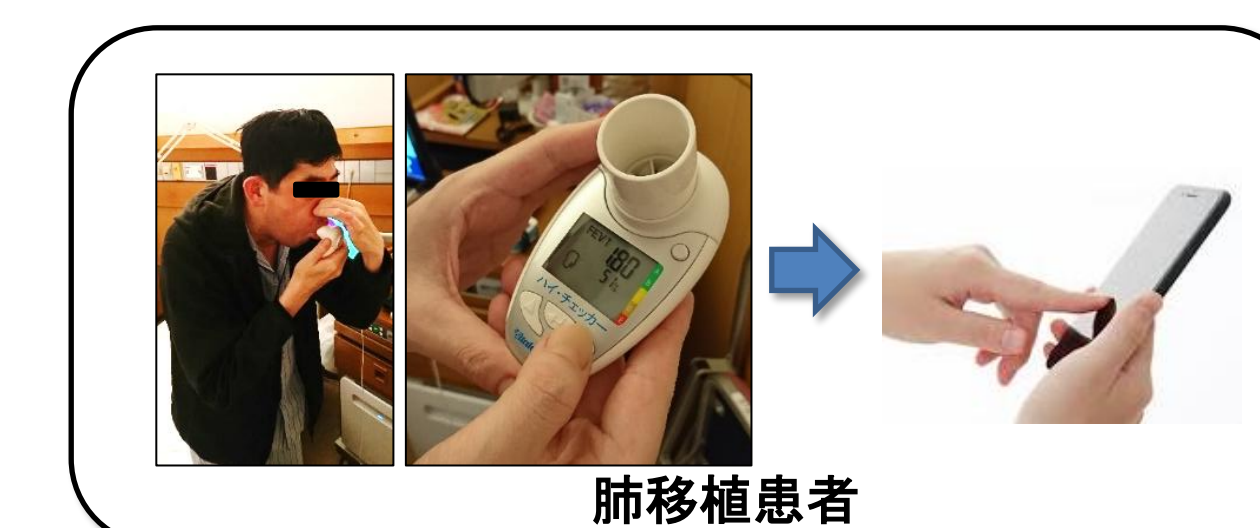
寄付講座「次世代臓器移植開発推進講座」



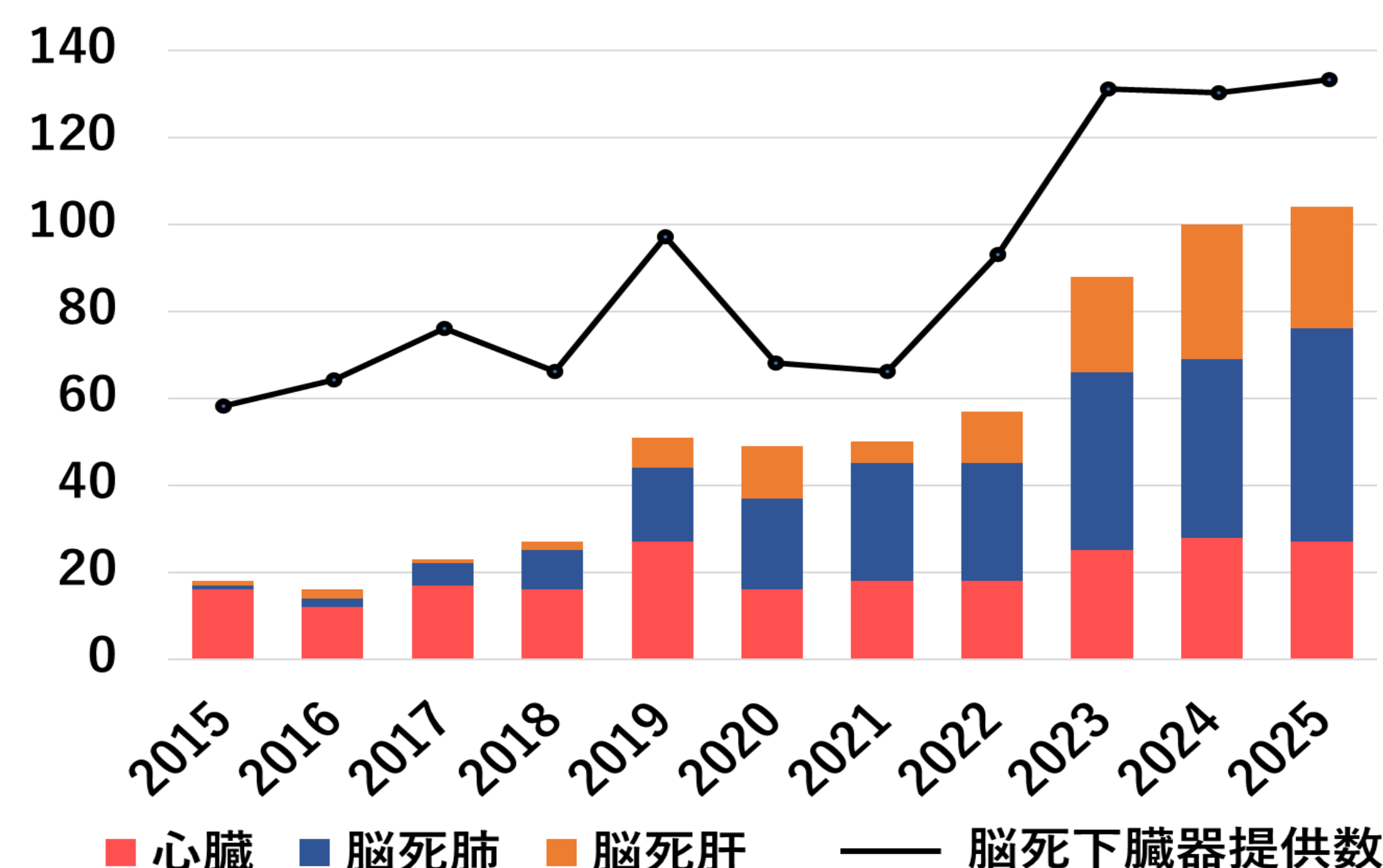
研究系教員

- ・ 羅妍（特任講師）
疫学研究、肺移植

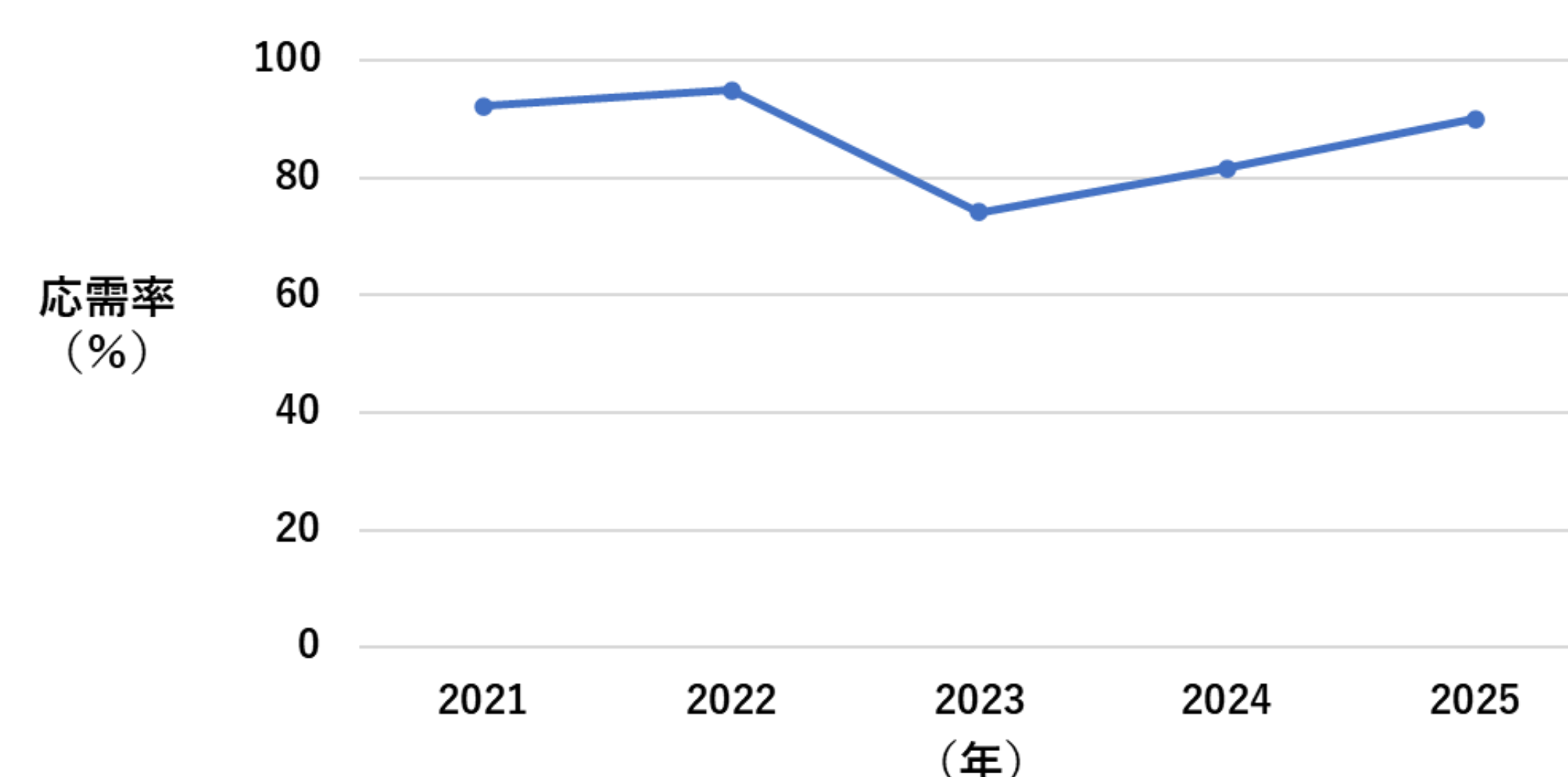
肺移植後患者の呼吸機能を遠隔でリアルタイムモニタリングするシステム：Lt-FollowUpの開発



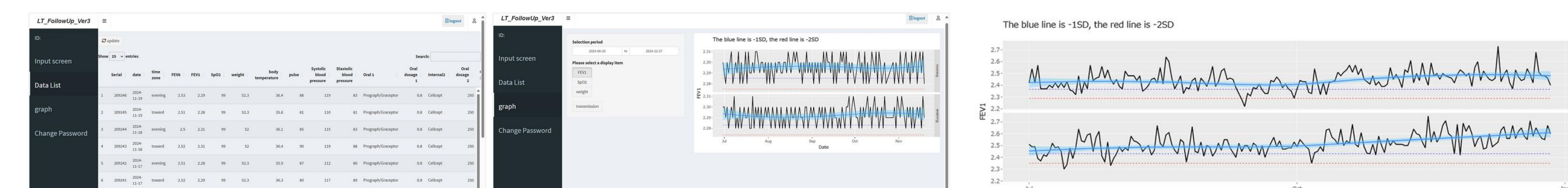
東大病院における脳死臓器移植数と国内脳死ドナー数の推移



東大病院における脳死下臓器移植の応需率*の推移



* 応需率 (%) = $\frac{\text{実際に受諾したドナーコール数}}{\text{医学的に受諾可能だったドナーコール数}}$



Shinohara Y, Yamaguchi M, Wannous M, Luo Y, Yamamoto K, Sato M. Criteria for identifying acute respiratory events based on FEV1 decline in home spirometry for lung transplant patients. BMC Pulm Med. 2025;25(1):176.

現在、国内すべての肺移植施設で使用中。前向き研究開始予定